

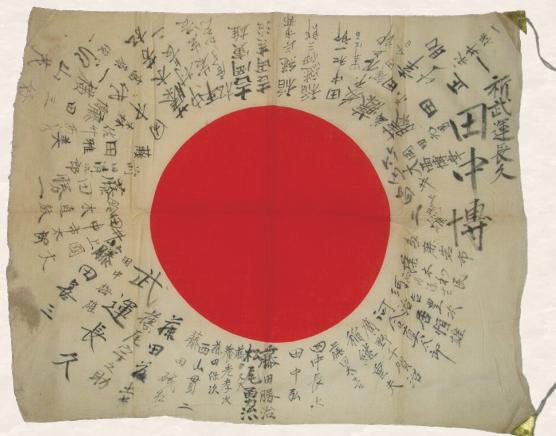
今年は「昭和100年」にあたる年であり、そして太平洋戦争終戦から80年を迎えます。

昭和の幕開けとともに、日本では経済と社会の不安が深まるなか、軍国主義化が進んでいきました。そして、同16年(1941)、日本はドイツとともにアメリカをはじめとする連合国との戦争に突入します。太平洋戦争では、兵士として戦地へ出征した人だけでなく、国内でも多くの人が犠牲になり、その数は軍人・民間人あわせて310万人以上と言われています。

また、農村や軍需工場での労働力不足を補うために女性、学生や生徒も動員され、工場での作業や農作業、軍需物資の生産など、さまざまな分野で働きました。学徒動員は、学生や生徒の教育や将来だけでなく、国民や社会にも大きな影響を与えました。

戦後80年の節目の年にあたり、多くの犠牲を払った太平洋戦争と戦争中のくらしを知り、平和と命の尊さを考える機会となれば幸いです。

展示説明会  
日 時：8月10日(日)  
13時30分～(約45分間)  
料 金：無料(要入館料)



日の丸の寄せ書き



学徒動員で使った「神風」ハチマキ



防空頭巾・もんぺ

国民服

